



優秀賞

埼玉県 岩槻遊技業組合  
「地域の青少年の健全育成と防犯活動」事業



岩槻遊技業組合 組合長  
趙頭洙さん

行政機関や福祉施設などの声を聞き、的確な社会貢献活動を地道に展開する

地域のニーズに合った活動を地道に継続

ニーズを見極めることの大切さは、ビジネスに限ったことではない。社会貢献や地域貢献活動をしようとする場合にも、どこに、どのようなニーズがあるのかをしっかりと見極めてからでないと、独りよがりなものになってしまう恐れがある。

埼玉県岩槻遊技業組合では、これまでさまざまな社会貢献事業に取り組んできたが、その基本にあるのは、行政機関や福祉関係団体などと綿密に連携を図りながら、どこで、どのような人々が、どのようなことを望んでいるのかをしっかりと把握し、それに対して的確に対応するという姿勢である。さらに、いずれの社会貢献事業においても、たとえ地味な活動であっても、それを単年度では終わらせずに、地道に継続していることである。

クリスマスプレゼントや防犯活動などで実績

組合が実施している主要な取り組みを見ていくが、まず長期にわたって続けられているものとしては、平成21年度で12回目となった、福祉施設などへのクリスマスプレゼントがある。これは福祉施設などに通所・入所する子どもたちに楽しいクリスマスの思い出をプレゼントしようという目的で始めたもので、クリスマスシーズンに合わせ、組合傘下の全ホール(昨年度は24ホール)から集めたぬいぐるみ、おもちゃ、チョコレート、お菓子、掛け時計、DVDなどを、蓮田市の心身障害者地域ケア施設、さいたま市岩槻区の県立養護施設、さらに蓮田市役所社会福祉課に調整を依頼した障害者福祉作業所(2ヵ所)に寄贈した。プレゼント先の養護施設や障害者施設からは、「毎年、プレゼントが届くのを楽しみに待っています。クリスマスのゲームやビンゴ大会の景品として活用させていただいています」、「いつもご支援いただき、ありがとうございます。入所者も大喜びです」など、感謝の声が寄せられている。



「蓮田はなみずき」作業所の入所者にクリスマスプレゼントを渡す様子



県立養護施設「いわつき」にも同様のプレゼントを寄贈した



寄贈したクリスマスプレゼントは、地区組合傘下の24ホールが提供



所轄警察署の協力を得て製作した街頭犯罪防止看板

また、県や市の養護施設や福祉事業担当者からの要望を聞き、社会福祉施設の作業所を働きやすく、過ごしやすくするための環境改善や、保育園の子どもたちが体を動かして安全に楽しく遊べるような園児用遊具などの整備にも協力している。

組合、協賛会社、地域の少年野球連盟の三者が連携して行っているのがヤクルトスワローズ少年野球教室で、昨年で4回目となった。これには組合員もボランティアとして参加し、子どもたちと直接触れ合うことを通して、自分たちの社会貢献事業の領域の幅を広げている。野球教室に参加した少年の父兄からは、「現役のプロ野球選手から直接的な指導が受けられ、子どもたちに将来の夢を与えられる」と評価されている。組合では青少年の健全育成活動の柱として、この野球教室を今後も続けていく予定だという。

さらに、行政機関や防犯協会などと連携し、地域の防犯活動にも積極的に取り組んでいる。これまでの主な活動としては、所轄警察署の協力を得て、自転車・バイク盗難防止用、車上狙い防止用の街頭犯罪防止看板を製作し、重点パトロール地区や組合員ホールの駐車場などに掲示した。また、防犯パトロール用ジャンパーを作成し、ホールなどに備え付け、街頭防犯キャンペーンなどに活用している。こうした活動に対し、ホール来店客や地域住民などから、「被害防止に役立った」という声が寄せられている。

決して背伸びや無理をせず、関係機関や関係者の声に耳を傾け、自分たちが今できることに真摯に取り組むという、社会貢献事業に対する地に足がついた態度は、地域に受け入れられている。